

令和3年度 白山中学校 学校評価

1. 結果と考察

【生徒アンケートの結果】

(単位：%)

【学校目標について】

| | そう思う | 大体そう思う | あまりそう思わない | そうは思わない |
|----------------------------------|------|--------|-----------|---------|
| 1. 白山中スローガン「自律 共生 創造」を意識して生活できた。 | 17.8 | 63.6 | 14.9 | 3.7 |

【小中一貫教育について】

| | | | | |
|--|------|------|------|-----|
| 2. 行事や活動、授業を通して、ふるさと我孫子のよさを知り、誇りをもつことができた。 | 27.1 | 51.3 | 17.0 | 4.6 |
| 3. 目標を持って、学校の様々な活動で挑戦できた。 | 53.8 | 39.0 | 5.4 | 1.8 |
| 4. 自分に自信を持つとともに、相手の立場や気持ちを大切にすることができた。 | 49.7 | 43.1 | 5.8 | 1.4 |

【学校生活について】

| | | | | |
|--|------|------|------|-----|
| 5. 授業の内容は、理解しやすい。 | 28.3 | 59.2 | 9.7 | 2.8 |
| 6. 授業中、主体的に考え、仲間と学び合いながら、考えをまとめることができた。 | 40.6 | 50.1 | 7.4 | 1.9 |
| 7. 生徒が、学習の見通しを持ち、調べる、自分の言葉でまとめるなど、学習方法を工夫している。 | 32.0 | 56.4 | 8.8 | 2.8 |
| 8. 私は、タブレットを使った学習に積極的に取り組んでいる。 | 46.2 | 38.3 | 11.1 | 4.4 |
| 9. 私は、友人関係を大切にし、思いやりの気持ちを持って生活するよう心がけた。 | 68.2 | 27.6 | 3.3 | 0.9 |
| 10. 私は、いじめや暴力のない学校生活に努めた。 | 74.5 | 22.1 | 2.6 | 0.7 |
| 11. 私は、日頃から地震や火災などの防災について、意識して生活している。 | 36.2 | 46.4 | 15.3 | 2.1 |
| 12. 感染症対策を通して、災害や病気に対して備える心構えができた。 | 59.2 | 34.6 | 5.1 | 1.1 |
| 13. 私は、学校行事に積極的に参加した。 | 62.2 | 29.7 | 6.0 | 2.1 |
| 14. 私は、係・委員会活動や部活動に積極的に取り組んだ。 | 61.5 | 29.3 | 6.3 | 2.8 |
| 15. 私は、3つの伝統「あいさつ」「歌声」「清掃」の向上を意識して取り組んだ。 | 51.1 | 41.5 | 5.1 | 2.3 |
| 16. 私は、公共のルールやマナーを守るよう心がけている。 | 68.4 | 29.5 | 1.2 | 0.9 |
| 17. 私は、日頃から、人のために役に立つ行動、活動をするように努めている。 | 44.6 | 44.3 | 10.0 | 1.1 |
| 18. 私は、SDGsの視点を持って、学校生活を送っている。 | 29.5 | 46.2 | 19.3 | 4.9 |

【地域・家庭生活について】

| | | | | |
|------------------------------------|-------|-------|-------|--------|
| 19. 私は、健康的な生活を送るよう心がけ、毎日、朝食を取っている。 | 72.4 | 19.7 | 6.0 | 1.9 |
| 20. 私は、家庭学習に積極的に取り組んでいる。(塾も含む) | 3時間以上 | 2時間程度 | 1時間未満 | 全くやらない |
| | 25.7 | 43.6 | 23.0 | 7.7 |
| 21. 私は、地域の一員として、地域のボランティア活動に参加した。 | 12.3 | 19.3 | 36.0 | 32.3 |

【生徒アンケートの考察】

1. 学校目標「自律 共生 創造」への意識について

・肯定的回答は 81.4%で、8 割を超えているが、「そう思う」と答えた割合が 2 割未満なので、生徒会・学級活動等を通じて、さらに目標の共有を図り、学校全体で取り組んでいきたい。

2. 小中一貫教育について

○「2. ふるさと我孫子への誇り」・・・肯定的回答は78.4%だが、昨年の73%から微増。今年は1年校外学習、2年校外学習と宿泊学習、3年宿泊学習と実施できた。仲間との旅は特別のものであり、新しい出会いややる気を生み、千葉県や我孫子市のよさを見直す機会になったと考えられる。

○「3. 挑戦すること」「4. 思いやり」・・・ともに92%を超えている。昨年は「様々な活動にチャレンジした」の肯定的回答(87%)に比較すると5%ほど増加。昨年度の休校や活動中止などを経て、今年は活動の場面が増えたことや感謝の気持ちを持って活動したことが結果に表れたと考えられる。

3. 学校生活について

☆評価の高い項目(肯定的回答 90%を越えるもの)

○「6. 主体的、対話的で深い学び」・・・90.7%

・自分で考えたり、仲間の意見を聞いたりして深める学習が定着しつつある。

○「9. 友人関係・思いやり」・・・93.8%、「10. いじめや暴力のない学校生活」・・・肯定96.6%

・「目指す生徒像(2) 自他の生命を大切にし、優しさあふれる生徒」に近づく努力がされているが、10については100%を目指したい。

○「12. 感染症対策への心構え」・・・肯定93.8%で、健康や安全への意識が高い。

○「13. 学校行事への積極性」・・・91.9%、「14. 委員会活動、部活動等への積極性」・・・90.8%

・「めざす生徒像(3) 人のために役に立つことを進んで行う生徒」に近づく努力がされている。

○「15. 3つの伝統への取り組み」・・・92.6%、「16. 公共のルール・マナー」・・・97.9%

・学校の伝統を大切にし、ルールを守って気持ちよく生活しようとする様子が見られる。

☆評価の低い項目(肯定的回答50%以下のもの)

○「21. 地域のボランティア活動への参加」・・・31.6%

・非常に参加している割合が低いので、防災教育や生徒会活動などを通して、防災キャンプや地域清掃など地域に役に立つ活動を具体的に行っていきたい。

☆評価が高くない項目(肯定的回答50%～80%未満)

○「18. SDGsの視点」・・・75.7%

・日常生活に目を向けることを大事にしつつ、環境保護、防災安全、差別の撤廃など、「持続可能な」よりよい社会を作る視点を持って、世界、社会、地域に貢献し、人の役に立とうとする意欲を育てたい。

☆その他、改善が求められる項目

○「5. 授業のわかりやすさ」「7. 学習方法の工夫」で否定的回答がそれぞれ12.5%、11.6%である。また、家庭学習の時間は全体的に多いが、やっていない生徒が7.7%いる。「個別最適な学び」(一人一人の特性・能力を活かした学び)を実現できるよう授業改善を図り、これらの生徒が自分の目標を設定して、主体的に学ぶ姿勢を大切にできるようにしていきたい。

【教職員】

【学校目標について】

(単位:%)

| | そう思う | 大体そう思う | あまりそう思わない | そうは思わない |
|--------------------------------------|------|--------|-----------|---------|
| 1. 白山中スローガン「自律 共生 創造」を理解し、具現化に努めている。 | 31.7 | 53.7 | 14.6 | 0.0 |

【小中一貫教育について】

| | | | | |
|---|------|------|------|-----|
| 2. 行事や活動、授業を通して、ふるさと我孫子のよさを知り、誇りを思う子どもを育てている。 | 19.5 | 43.9 | 36.6 | 0.0 |
| 3. 学校の様々な活動の中で、夢を持ち挑戦する子どもを育てている。 | 36.6 | 58.5 | 4.9 | 0.0 |
| 4. 自分に自信を持つとともに、相手の立場や気持ちを大切にすることができる子どもを育てている。 | 39.0 | 56.1 | 4.9 | 0.0 |

【学校生活について】

| | | | | |
|---|------|------|------|-----|
| 5. 授業の内容は、生徒にとって理解しやすくなるように工夫している。 | 41.5 | 58.5 | 0.0 | 0.0 |
| 6. 「主体的・対話的で深い学び」の視点で、授業改善に努めている。 | 48.8 | 46.3 | 4.9 | 0.0 |
| 7. 生徒が、学習の見通しを持ち、調べる、自分の言葉でまとめるなど、学習方法を工夫する力をつけるよう心がけている。 | 46.3 | 46.3 | 7.3 | 0.0 |
| 8. 積極的に、タブレットを活用した授業を行っている。 | 14.6 | 58.5 | 24.4 | 2.4 |
| 9. 様々な教育活動を通じて、生徒が、友人関係を大切に、思いやりの気持ちを持って生活するよう指導している。 | 46.3 | 53.7 | 0.0 | 0.0 |
| 10. 様々な教育活動を通じて、いじめや暴力のない学校生活を送るよう指導している。 | 65.9 | 34.1 | 0.0 | 0.0 |
| 11. 日頃から地震や火災などの防災について、生徒に意識づけをしている。 | 24.4 | 65.9 | 9.8 | 0.0 |
| 12. 感染症対策を通して、災害や病気に対して備える心構えを育てている。 | 43.9 | 48.8 | 7.3 | 0.0 |
| 13. 学校行事が生徒主体で行われるよう努めている。 | 56.1 | 41.5 | 2.4 | 0.0 |
| 14. 係・委員会活動や部活動が生徒主体で行われるよう努めている。 | 46.3 | 51.2 | 2.4 | 0.0 |
| 15. 生徒に、3つの伝統「あいさつ」「歌声」「清掃」の向上を働きかけている。 | 36.6 | 51.2 | 12.2 | 0.0 |
| 16. 生徒に、公共のルールやマナーを守るよう働きかけている。 | 56.1 | 41.5 | 2.4 | 0.0 |
| 17. 様々な教育活動を通して、人のために役に立つことの大切さを指導している。 | 46.3 | 51.2 | 2.4 | 0.0 |
| 18. 様々な教育活動を通して、SDGsの意義に触れ、取組を働きかけた。 | 29.3 | 46.3 | 24.4 | 0.0 |
| 19. 健康的な生活に心がけ、朝食を取るなどの食事の大切さについて働きかけている。 | 24.4 | 61.0 | 14.6 | 0.0 |
| 20. 家庭学習の大切さを理解し、積極的に取り組むよう生徒に働きかけている。 | 34.1 | 56.1 | 9.8 | 0.0 |
| 21. 地域の一員として、地域のボランティア活動に参加するよう働きかけている。 | 9.8 | 46.3 | 41.5 | 2.4 |

【目指す生徒像・目指す教師像について】

| | | | | |
|--|------|------|-----|-----|
| 22. 挑戦し、努力し続ける忍耐力と行動力を持った生徒になるよう働きかけた。 | 41.5 | 48.8 | 9.8 | 0.0 |
| 23. 自他の生命を大切に、優しさあふれる生徒になるよう働きかけた。 | 48.8 | 48.8 | 2.4 | 0.0 |
| 24. 人のために役に立つことを進んで行う生徒になるよう働きかけた。 | 48.8 | 48.8 | 2.4 | 0.0 |
| 25. 教育に情熱を持ち、一人一人の生徒を大切にした。 | 56.1 | 41.5 | 2.4 | 0.0 |
| 26. 人間性や専門性の向上に努めた。 | 41.5 | 48.8 | 9.8 | 0.0 |
| 27. 多様性を認め、相手の立場に立って考えた。 | 48.8 | 48.8 | 2.4 | 0.0 |
| 28. 教育公務員としての自覚を持ち、誰からも信頼されるよう努めた。 | 65.9 | 34.1 | 0.0 | 0.0 |

【教職員アンケートの考察】

1. 学校目標「自律 共生 創造」への意識について

・肯定的回答は 85.4%で、8 割を超えているが、「あまり思わない」の回答が 14.6%という結果である。学校職員として全員が、年度初めに様々な活動にこの視点を入れるようにする。

2. 小中一貫教育について

- 「2. ふるさと我孫子への誇り」…肯定的回答は63.4%で、昨年の84%より大きく減っている。「ふるさと我孫子の先人たち」や「ふるさと手賀沼」などの教材を活用して、郷土学習の機会を作るよう努めたい。
- 「3. 挑戦すること」「4. 思いやり」…ともに95%を超えている。昨年は「活動へのチャレンジ」(97%)、「自他を大切に作る心の教育」(87%)より高くなっている。休校や活動中止などを経て、今年は学びの保証への努力と共に、その意義を感じて指導にあたったことが結果に表れたと考えられる。

3. 学校生活について

☆評価の高い項目(肯定的回答 95%を越えるもの)

- 「5. わかりやすい授業」…100%、「6. 主体的、対話的で深い学び」…95.1%
 - ・自分で考えること、仲間と学び合うことを大切にし、経験の場を保証し、ICTの活用、学習の振り返りを積極的に行うように努めていることが表れている。
- 「10. いじめや暴力のない学校」…100%
 - ・「目指す生徒像(2) 自他の生命を大切にし、優しさあふれる生徒」の育成に向けた努力がされている。
- 「13. 生徒主体」…97.6%、「14. 活動等への積極性」…97.5% 「17. 人のために役立つ」…97.5%
 - ・「めざす生徒像(3) 人のために役に立つことを進んで行う生徒」の育成に向けた努力がされている。
- 「16. 公共のルール・マナー」…97.6%
 - ・学校の伝統を守り、ルールを守って気持ちよく生活しようとする白山中生の品性を大切にしている。

☆評価の低い項目(肯定的回答60%以下のもの)

- 「21. 地域のボランティア活動への参加」…56.1%
 - ・活躍の場を具体的に設けて、地域貢献する心構えと実践力をつけていきたい。

☆評価が高くない項目(肯定的回答50%～80%未満)

- 「8. タブレットの積極的な活用」…73.1%
 - ・否定的な回答が25%であり、4人に1人は消極的な活用と回答。今後、校内でICT活用について得意な教員からの実践紹介をするなどして、苦手な教員も活用できるようにしていきたい。
- 「18. SDGsの視点」…75.6%
 - ・新学習指導要領ではSDGsの視点が重視されているが、意識の差がある。「持続可能な」よりよい社会を作るという視点を持って、世界、社会、地域に貢献しようとする意欲の育成を大切にしていきたい。

4. 目指す生徒像・目指す教師像について

☆評価の高い項目(肯定的回答 95%を超えるもの)

- 「23. 優しさあふれる生徒の育成」…97.6%、「24. 人のために役立つ生徒の育成」…97.6%
 - ・目指す生徒像に向けて学校全体で取り組めた。100%を目指したい。
- 「25. 教育への情熱」97.6%、「27. 包容力と思いやり」97.6%、「28. 信頼される教師」100%
 - ・学校が楽しく、一人一人が認められる元気な学校になるよう、全員で努力してきたことが表れている。

☆課題がある項目

- 「26. 人間性や専門性の向上」 否定的回答が 1 割近くあり、続けたい。率先垂範する気概を持てるよう、研究と修養を通じて、若手ベテランともに人として成長できる職場の雰囲気づくりに努めたい。

5. 今後の取組に向けて

・全体的に、教職員として努力しているという結果が出ているが、それだけでなく、生徒や保護者の視点を常に持って教育活動に取り組むことを大切にし、教職員としての資質向上に励みたい。

| 【保護者】 【学校目標について】 | (単位：%) | | | |
|---------------------------------------|--------|--------|-----------|---------|
| | そう思う | 大体そう思う | あまりそう思わない | そうは思わない |
| 1. 子どもは、白山中スローガン「自律 共生 創造」を意識して生活できた。 | 15.7 | 63.5 | 18.0 | 2.8 |

【小中一貫教育について】

| | | | | |
|---|------|------|------|-----|
| 2. 子どもは、行事や活動、授業を通して、ふるさと我孫子のよさを知り、誇りをもつことができた。 | 16.1 | 58.6 | 22.4 | 3.0 |
| 3. 子どもは、学校の様々な活動の中で、目標を持って挑戦できた。 | 32.9 | 55.8 | 9.8 | 1.6 |
| 4. 子どもは、自分に自信を持つとともに、相手の立場や気持ちを大切にすることができた。 | 32.0 | 56.1 | 10.0 | 1.9 |

【学校生活について】

| | | | | |
|--|------|------|------|------|
| 5. 子どもにとって、授業は、わかりやすいようだ。 | 12.6 | 57.0 | 25.9 | 4.5 |
| 6. 子どもは、授業中、主体的に考え、仲間と学び合いながら、考えをまとめることができたようだ。 | 17.3 | 59.8 | 19.4 | 3.5 |
| 7. 子どもは、授業で、学習の見通しを持ち、調べる、自分の言葉でまとめるなど、学習方法を工夫しているようだ。 | 19.4 | 47.6 | 28.8 | 4.2 |
| 8. 子どもは、タブレットを使った学習に積極的に取り組んでいるようだ。 | 18.0 | 39.7 | 32.3 | 10.0 |
| 9. 子どもは、友人関係を大切に、思いやりの気持ちを持って生活するよう心がけたようだ。 | 46.3 | 48.3 | 4.0 | 1.4 |
| 10. 子どもは、いじめや暴力のない学校生活に努めたようだ。 | 55.9 | 39.9 | 2.4 | 1.7 |
| 11. 子どもは、日頃から地震や火災などの防災について、意識して生活しているようだ。 | 25.5 | 48.3 | 24.1 | 2.1 |
| 12. 子どもは、感染症対策を通して、災害や病気に対して備える心構えができたようだ。 | 35.3 | 52.8 | 10.5 | 1.4 |
| 13. 子どもは、学校行事に積極的に参加したようだ。 | 52.4 | 37.2 | 8.2 | 2.1 |
| 14. 子どもは、係・委員会活動や部活動に積極的に取り組んだようだ。 | 57.3 | 34.6 | 5.8 | 2.3 |
| 15. 子どもは、3つの伝統「あいさつ」「歌声」「清掃」の向上を意識して取り組んだようだ。 | 40.4 | 49.5 | 8.7 | 1.4 |
| 16. 子どもは、公共のルールやマナーを守るよう心がけているようだ。 | 52.8 | 44.6 | 1.9 | 0.7 |
| 17. 子どもは、日頃から、人のために役に立つ行動、活動をするように努めているようだ。 | 29.0 | 54.9 | 14.7 | 1.4 |
| 18. 子どもは、SDGsの視点を持って、学校生活を送っているようだ。 | 17.0 | 52.1 | 27.4 | 3.5 |

【地域・家庭生活について】

| | | | | |
|--------------------------------------|-------|-------|-------|--------|
| 19. 子どもは、健康的な生活を送るよう心がけ、毎日、朝食を取っている。 | 64.9 | 26.4 | 5.1 | 3.7 |
| 20. 子どもは、家庭学習に積極的に取り組んでいる。(塾も含む) | 3時間以上 | 2時間程度 | 1時間未満 | 全くやらない |
| | 17.1 | 37.8 | 38.5 | 6.6 |
| 21. 子どもは、地域の一員として、ボランティア活動に参加した。 | 7.5 | 19.9 | 36.0 | 36.5 |

【保護者アンケートの考察】

1. 学校目標「自律 共生 創造」への意識について

・肯定的回答は78.7%で、8割を超えていない。生徒の成長がわかる情報発信を行っていききたい。また、保護者の方にも目標を共有していただき、家庭からも声かけをしていただけるようにしていきたい。

2. 小中一貫教育について

○「2. ふるさと我孫子への誇り」…肯定的回答は74.7%で、昨年81%より減っている。郷土学習の機会を作るよう努め、その様子を発信するようしていきたい。

○「3. 挑戦すること」88.7%「4. 思いやり」88.1%…昨年は「活動へのチャレンジ」(79%)、「自他を大切に作る心の教育」(89%)と比較すると、目標をもって挑戦する姿の評価が高くなっている。休校や活動中止などを経て、行事や部活動の中で生徒が頑張る姿が結果に表れたと考えられる。

3. 学校生活について

☆評価の高い項目(肯定的回答90%を超えるもの)

○「9. 友人関係・思いやり」94.6%、「10. いじめや暴力のない学校」…95.8%

・「目指す生徒像(2) 自他の生命を大切に、優しさあふれる生徒」になる努力が評価されている。

○「14. 活動等への積極性」…91.9%

・「めざす生徒像(3) 人のために役に立つことを進んで行う生徒」への努力が評価されている。

○「16. 公共のルール・マナー」…97.4%

・ルールを守って気持ちよく生活しようとする白山中生の姿が評価されている。

☆評価の低い項目(肯定的回答60%以下のもの)

○「8. タブレットの積極的な活用」…57.7%

・タブレットを家庭に持ち帰ったことが少なく、学校での活用の様子も見ていただく機会も少ない。3学期より休校中のタブレット活用を進めており、これからより積極的な活用を、実践を通して進めたい。

☆評価が高くない項目(肯定的回答50%~80%未満)

○「5. わかりやすい授業」69.6%、「6. 主体的、対話的で深い学び」77.1%、

「7. 学習方法の工夫」67.0%、「11. 防災意識」73.8%

・授業の学習については、「授業のわかりやすさ」「生徒の学習方法の工夫」の否定的回答が3割だ。教育の方向性が、社会の変化に伴い、従来の知識偏重型から思考力・表現力が重視される形に変わり、「学習の個性化」(一人一人の能力や特性に合わせて学習していくこと)を図ることが求められている。基礎基本の定着と活用力のバランスをとりつつ、時代の求める力もつけるよう引き続き努めたい。

○「18. SDGsの視点」…69.1%

・「持続可能な」よりよい社会を作るという視点を持って、世界、社会、地域に貢献しようとする意欲の育成への生徒の取組を情報発信していきたい。

4. 地域・家庭生活について

☆評価の高い項目(肯定的回答90%を超えるもの)

○「19. 健康意識・朝食」91.3%

・生徒が元気に頑張れるのはご家庭のご支援の賜物です。さらに健康意識を高めていきたい。

☆課題がある項目

○「21. 地域のボランティア活動への参加」…27.4%

・地域の行事に参加することで、地域を大切にする気持ちが育ち、生きる力に繋がる。我孫子に育ったことを誇りにする子どもたちに育てたい。

2. 学校関係者評価について（PTA役員、学校評議員の意見・感想）

・生徒の回答を見ると「大体そう思う」よりも「そう思う」ときっぱりした回答が目立つので、忠実に守って生活している姿が思い浮かんだ。先生方の回答は「大体そう思う」と「そう思う」が同じくらいなので、だいたいできているがもっとできたのでは・・・という気持ちの表れかと思った。評価が余り高くなかった項目、ふるさと我孫子のよさを知る、やボランティア活動はコロナの影響が大きいと感じます。授業の内容については生徒、保護者ともに物足りない様子も見え、勉強の大変さがわかる気がした。学校生活の思いやりやいじめ暴力がないこと、行事に積極的に参加など、日頃の子どもを見ていて感じていたことと変わりなかったので続けてほしい。SDGsの視点については身近なことと結び付けながら感じられたらよいと思います。

・(学習面)子どものやる気には個人差があると思いますが、家庭学習、タブレット活用などもっと積極的に行ってほしい。子どもの家庭学習の時間と保護者の時間に違いがあるのは親から見ていると不十分に思われるからだろう。今後もコロナ対策として自宅学習の方法など良い方向へ進めてほしい。(その他)SDGsについては、現在の中学生にとっては普通に生活に溶け込んだ社会になっていくことだと思いは心配していない。ボランティア活動は生徒、教師共にコロナ禍のため実施が難しかったと思われる。(学校生活)行事や学校での活動への取組に充実できた日々を送れたことは「さすが白山中！！」と思うこともあります。先生方、本当にありがとうございます。今後は「そう思わない」と答える数%の方々へのフォロー、授業のわかりやすさ、わからない子への対応、自宅学習、タブレットの活用、思った課題は以上です。よろしく願います。

・学校目標について、教職員方の理解、具現化に努めているのが、生徒と保護者の数字にもちゃんと反映されているので、「あまりそう思わない」をゼロになるようにしていただきたい。学校生活について「あまりそう思わない」が多いタブレット学習やSDGsの視点の項目は、新しく入ってきたことなので仕方ないと思います。今年度の経験を来年度に活かして取り組んでいただきたいと思います。「友人関係・思いやり」「いじめや暴力のない学校」について評価が高いのは保護者としてもとても安心できます。「学校行事、委員会活動、部活動への積極性」が高いのは色々な制約がある中でも先生方が工夫しながら活動を続けられるよう努力してくださっているのを生徒もきちんと感じてその機会を大事にしているのだと思います。地域の関わりを大事にして我孫子のよさを子どもたちに知らせるのは家庭でも取り組まないといけないと思いました。

・全体的に生徒、大人の評価に大きな差がなく安心しました。日頃から感謝、相手の気持ち、人間関係、人のため等、校長先生のお話でも都度出ていることがきちんと聞いているのが分かりました。残念なのはボランティアへの参加について。我孫子市は他の市町村に比べてこの活動の案内や情報が不足していることが大きいと思います。もっと生徒や地域の人が参加出来るボランティアイベントを企画することが必要だと感じた。

・(学校目標)中学校教育の主眼になるものと思っています。ですが、否定的回答が多いように感じました。特に教職員でも否定的回答があるので、わかりやすく実現可能な目標の検討が必要だと思います。(小中一貫教育について)私自身、我孫子で教育を受けて育ちましたが、当時は「ふるさと我孫子」の教育などなかったと思います。非常に良い教育だと思いますので、積極的に継続していただきたいと思う。(学校生活について)コロナ禍での生活に終わりが見えず、タブレット活用したオンライン学習等が不可欠の時代になると思います。積極的な推進をお願いします。地域ボランティアは受け皿がなければできません。学校と地域の連携が必要だと思います。親としても地域住民の一員として、ボランティア等の働きかけ、防災対策への働きかけをしていきたいと思っています。

・①白山中スローガン⑧SDGsの視点、2つの項目の肯定的回答の比率を上げるには具体的な実行イメージを示した方がよいのではないかと。例えばSDGsの視点を持って学校生活を送るというのは具体的に5W1Hで示さないと腹落ちしないのではないかと。⑩いじめや暴力のない学校生活、に否定的な回答をしている生徒と保護者が3~4ポイントある。生徒や保護者がヘルプを求めている可能性もあるので、内容を追求した方がよいのではないかと。

・お世話になっている娘が充実した学校生活を送らせていただいているのは先生方のおかげです。本当に感謝しております。アンケート結果で気になったのは、⑧SDGsの視点です。私自身、言葉を聞いただけで深く考えたことがなかったので、子どもと一緒に今後考えていきたいと思っています。今後も微力ではありますが、学校のお役に立つよう協力させていただきたいと思っています。

・学校を1日も休まず通っている子どもの姿から、毎日先生方が大変努力されて学校生活をよりよく送れるようにしていただいているのを感じます。今回のアンケートより、親が安心して通わせることができる雰囲気であることを感じました。⑩いじめや暴力のない学校、⑯公共のルールやマナーに関して、生徒、保護者、先生方3者で評価が高かったのも、すばらしいです。入学前は不安でしたが、少しトラブルがあったときも先生方を始め、周りの友達もよい方向に行くように対処してくれ、温かさを感じました。感染症対策も評価が高く、安心しました。一方、「わかりやすい授業」で保護者に否定的な回答が3割ありますが、理由としては、「授業の様子がわからない」ところがあると思います。子どもが恥ずかしがっているため授業参観に行かない、授業について家で話さないなどがあると思いますが、学校HPに授業の様子を伝えてくださっているのも、保護者はHPを見る機会を増やすとよいと思います。もう一つは「わかりやすい＝テストでいい点数がとれる」と保護者が結びつけがちではないかということです。従来の知識理解型から思考力、表現力が重視されているので、基本的な知識を家庭学習で身に付けて行かれるよう保護者もサポートしていくことも必要かと思います。最後に校外学習と宿泊学習を2回に分けて実施していただき、コロナ禍ではありますが、趣向を凝らしたアイデアを考えていただき、思い出に残るものになったと思います。親として、またPTA役員として微力ながら頑張っていきたいと思っています。

・生徒、教職員、保護者において概ね意見が一致しており、よい傾向だと思いました。(白山中スローガン)肯定的意見は8割を超えていますが、なんとなく感が否めません。教職員・生徒が「この活動がスローガンに繋がっている」という認識があれば、もっと意欲的な活動になり「そう思う」が増えるのではないかと。(SDGs)学校でも水を大切にするなど実際やっても「そう思う」という回答に繋がらないのは漠然としているからだと思います。どのような行動がSDGsに繋がるか具体的な事例をクラスで話し合うなどの機会を持つと意識できるのではないかと。(ボランティア)家庭での責任でもあるのですが、自主的に参加できるきっかけが少ない。一方、今しかできないこともあるので、1年に1回以上ボランティアに参加するように学校から声をかけたり、部活動単位で校内清掃をやっているのがHPに案内されていますが、地域清掃というのも十分なボランティアかと思っています。

・コロナ禍にあることが、アンケートの回答に少なからず影響していることが見受けられた。万が一、急に学年閉鎖や学校閉鎖になった時を心配し、タブレット活用や授業形態、自宅学習について、よりよい環境整備を求めるといった考えの土台にあると思う。

・SDGs、ボランティア活動、ふるさとへの郷土愛など、様々な社会問題に取り組むことは私利私欲を越えて他を思いやる考え方が身につかないと出来ないことである。学校のみならず、あらゆる場所で今後求められるので中学生でしっかり基礎作りが必要である。その基礎作りがまだまだこれからなのではという意味が受け取れるアンケート結果である。

・肯定的回答の高いもので特に先生方の項目で、「わかりやすい授業」「信頼される教師」が100%であったこと、また、生徒の「挑戦すること」「思いやり」「主体的・対話的で深い学び」も90%を越えていたことは、とても嬉しく来年以降も同じ数字が出るように願っています。

・肯定的回答がそれほど高くない項目、低い項目、改善が求められる項目については、ぜひ来年度以降は少しでも高い数字が出るように、より一歩踏み込んで具体的な活動を計画、目標を掲げて取り組めるとよいと思います。

・地域のボランティア活動やふるさと我孫子への誇りへの誇りが低いという結果がありました。下校中の生徒が、ご年配の方の手助けをしてお褒めの言葉をいただいたということが以前ありました。これも立派な地域ボランティア活動だと思います。コロナ禍で実際に活動することが少し難しい期間には、オンラインでできることで、我孫子の良さを学ぶこともできるのかもしれませんが、昨年、震災学習で福島の方々とオンラインでやりとりをしたように、我孫子で活躍する方々とお話しをしたり・・・、できると思います。

・生徒アンケートから見えてくることは、「白山プライド」をもって日々活動している生徒が多いということです。それは、「目標を持って学校の様々な活動に挑戦できた」「自分に自信を持つとともに、相手の立場や気持ちを大切にすることができた」また、「友人を大切に、いじめや暴力のない学校生活に努めた」が高い割合を示していることからうかがえます。意識は行動にも表れ、「行事や部活動への取組」だけでなく、毎日の「清掃や歌声活動」に積極的に取り組んでいることにも繋がっています。

・「家庭学習」について生徒の評価より保護者の評価が低めなのは、保護者の期待の表れではないかと推察します。コロナ禍で直接子どもたちの活動する姿を目にする機会が減り、家での子どもたちの姿から様子をう

かがうことが多くなっていることも影響しているのではないのでしょうか。しかし、そのような状態でも学校からはできるだけ多くの情報を色々な媒体で発信し続けていることは生徒・保護者ともに少しでも誤解を少なくし、安心して学校生活を送ることに繋がっていると思います。

・ICTについては、今年度からタブレットが用意され、生徒・保護者の期待も高まったと思います。活用についてはまだまだ課題があり、一足飛びには十分な活用は難しいのではないかと思います。その中で、急速な学校ICT化を進めるために、先生方が研修の機会を設け、使用マニュアルの作成に取り組んでおられると聞きました。欠席している生徒や「インクルーシブ教育」の取組としてタブレットが活用されている場面も増えているようです。

・「SDGsの視点を持った活動」や「地域貢献」など取り組まなければならない課題はますます増えていく中、意識の高い生徒とそれを支える先生方、応援を惜しまない保護者の方々が、意志の疎通を図る努力をこれからも続けられることを大いに期待しています。三年生が胸を張れる学校はとても素晴らしい学校であり、先生方が日々努力されている学校、それが今の白山中学校の姿であると思います。

3. 第三者評価について（学識者の方の評価）

・よくできている評価である。資料がわかりやすいと感じました。学校目標はとてもよい結果で、生徒の回答が8割越えているのは素晴らしいと思います。学校目標や小中一貫について、教職員の「そう思う」が少ないことが気になるが、学校の様子を見ていると、一生懸命やっていて理想が高いと感じる。そのことを考えると、「大体そう思う」が多くなっているのが実感できる。教職員は「あまりそう思わない」「そう思わない」という回答が非常に少ないので一丸となって子どもたちの教育に従事していると実感した。

・特に顕著だったのは、地域・家庭生活についてのボランティアの項目で、非常に低い数値になっているが、コロナ禍では仕方のないことだと思う。状況が変われば変わると思う。家庭学習についてはしっかり勉強しているので安心した。

・SDGsについては視点を持っていると思うが、具体的な切り口を学校で提示して、何をするか具体的に行動していくとよい。地域のボランティアについては、近くの公園や桜の花びらを掃くなど学校の周りの掃き掃除から始めてはどうかと思う。